

表彰式での矢野審査委員長による講評

◆全体講評

皆さん、おめでとうございます。私がこのコンテストの審査を担当するのは、2回目です。平成25年度の前回では、風景写真が多く応募されました。一方で、今回は作品に人物を取り入れて、生活感や温もりの伝わる、心が和むような作品が目にとまりました。ほかの審査委員と協議する中でも、そういった作品が評価され、多く入選しました。

先日、審査委員会が終わってから、久しぶりに今井町を散策したのですが、まるでタイムスリップしたような、郷愁を覚える雰囲気のある町へと、さらに進化していました。店舗も主張するわけではなく、さりげなく存在しているように、歴史と人の営みが調和しているところが、橿原市の魅力であると感じました。

また、お気軽Facebook部門では、「近づく」ということがポイントだったように思います。スマホ等で被写体に接近して撮影することで、インパクトの強い作品に仕上がっており、興味深く見せていただきました。

◆プリント部門

(最優秀賞)

「悠久の町並」

応募作品の中では、他にも今井町で絵を描いている人物を取めた作品がありました。なぜ、こちらの作品が選ばれたかというと、人物を主にしながらも、茶店の旗を取り入れているのが、ちょっとした工夫ですが、とても効いているからです。構成的に、素晴らしい作品だと思います。

(優秀賞)

「染まる町並」

この作品は、構図の中で、量的に右手の民家を多く取り入れており、まっすぐではなくバランスを崩しています。そのような切り取り方で、夕景で静かな佇まいの今井町を捉えたことが、良かったと思います。

「夕焼けに染まる」

本薬師寺跡のホテイアオイはよく撮られる場所ですが、この作品は、田んぼの水面に映りこんだ夕日と畝傍山を主役にして、花を脇役に持ってきたところが、素晴らしいと思います。また、作者に聞いたところ、何回も足を運ぶ中で、一番いい瞬間を選んだとのこと

で、そのように手間をかけたことも重要だと思います。

「夏祭り」

この作品は、最優秀賞となってもおかしくないくらい、素晴らしい作品です。浴衣姿の女性たちをスローシャッターで動きがあるように捉えており、手前にポストや民家を入れることで、奥行きが生まれています。また、建物の2階にいる人物が非常に効いていて、構図、タイミング、シャッタースピードなど、しっかりと計算された作品だと思います。

（審査員特別賞）

「夕日に映える」

近くにホテイアオイと本薬師寺跡の森、遠くに畝傍山に夕日が沈むところを捉えています。このように、夕日が沈む場面では、逆光になって近代の建物が目立たなくなるので、畝傍山をより大きく目立たせることに成功しています。

「浪漫」

この一本の木と畝傍山を背景とした風景は、多くの方が撮りに来られますが、構図の切り方で仕上がりが大きく違ってきます。作者と話したところ、木の存在をより印象付けるため、空をたくさん入れずに右手に大きくとり、また遠景の畝傍山と太陽の位置も計算したとのことで、その点が良かったと思います。

（佳作）

「朝日に輝く」

広角系のレンズを使って、朝日の光具合を利用しながら、手前に少し影になったところを入れてあります。それにより、画面手前に変化が生まれ、作品に奥行きが出ています。前景の入れ方のうまさ、レンズの使い方のうまさ、良かったと思います。

「花競演」

作者もガスのかかる風景を撮影するため訪れていたのだと思いますが、この作品は、ガスが薄れてきて、カメラマンたちがそろそろお終いかなと、ホッとしたときの光景だと思います。そこを切り取った発想が、良かったと思います。タイトルのおおりに、緊張のとけた様子の人々と、咲き誇るコスモスの組み合わせが、素晴らしい作品です。

「春日和」

藤原京にあるこの場所は、桜並木と菜の花が美しく、花見客も多い場所です。手前の枝ぶりのいい桜と、広がる菜の花が、春らしい雰囲気の良い作品です。

「夕映え」

田んぼと畝傍山と二上山を撮影されていて、雲の状態も素晴らしいタイミングです。この作品も、何度も足を運んで厳選されたのではないかと思います。

「朱に染まる刻」

写っている人物は田んぼの持ち主でしょうが、田んぼを見てまわっており、人の営みがあります。そこに、夕日の色合いの二上山をバックに捉えており、雰囲気のある作品に仕上がっています。

◆お気軽フェイスブック部門

(いいね!かしはら賞)

「幸せの黄色いポスト」

手前にポストを大きく入れることで、強い印象があります。また、後ろに駅名の看板を入れることで、場所がどこかわかるようにしていることも、評価されます。

「ホテアオイと畝傍山」

ホテアオイは、早朝には花がひらかず、日が昇らないと咲かないそうです。この作品は、日中ですがローアングルで撮影することで、建物を隠して、それぞれの花の表情をよく収めています。また、遠くに畝傍山を入れていることも、ポイントです。

「さりげなく」

今井町の町角にある一輪挿しに目を留めて、それにぐっと近づいただけでなく、後ろに散髪屋の古風な看板、今井の町並みも入れたことが、良かったと思います。

「早朝の櫃原神宮」

この作品は、一人の参拝客を入れていることが、とても効いています。単に神社の境内を収めるだけでなく、そこに人物があることで、早朝の櫃原神宮の静寂と、厳かな雰囲気がよく出ています。

「夏の思い出」

親子の楽しげで初々しい様子が、よく現れた作品です。これも、被写体に近づくことでほかの要素を入れず、ホテアオイの中に親子の記念撮影のシーンを収めていることが、良かったと思います。

以上